

第22回紀の国チャレンジド賞及び紀の国チャレンジド・サポート 感謝状授与式の開催について

障害を克服し、生き生きとした社会生活を送られているチャレンジドを表彰するとともに、チャレンジドの社会生活を支えておられる方に対する感謝状の授与式を下記のとおり行います。

この表彰は、障害者の自立と社会参加の促進、ノーマライゼーション社会の実現を図るため、平成15年度から実施しているものです。

記

1 表彰内容（表彰を受ける方は別添のとおり）

・紀の国チャレンジド賞

自立更生者賞 1名

障害がありながら、その障害を克服し、5年以上にわたり社会経済活動を行い、現在も自立して生活しており、自立更生の成果が顕著である方。

チャレンジ賞 1名

障害がありながら、その障害を前向きにとらえ、社会のあらゆる方面において意欲を持って挑戦し、障害のある人に夢と希望を与え他の模範となる方。

・紀の国チャレンジド・サポート感謝状

更生援護功労者部門 2名

障害のある人、障害者福祉の関係団体、施設等に対し、10年以上にわたり援護奉仕を行い、それにより障害のある人の自立更生又は障害者福祉の関係団体、施設等の発展に寄与し、もって地域の福祉の向上に著しく貢献している方。

ファミリーサポート功労者部門 2名

10年以上にわたり障害のある人を支え、円満な家庭生活を営んでいる配偶者や同居している家族。又は、20年以上にわたり重度障害のある子の在宅生活を支え、その自立と社会参加を支援している父母。

2 表彰式日時及び場所

令和6年12月5日（木）11：00～

和歌山県庁 本館4階 正庁

（連絡先）

福祉保健部福祉保健政策局障害福祉課

担当：二越（ニコシ）、金尾

電話：073-441-2532

○紀の国チャレンジド賞

<自立更生者賞>

年齢は令和6年12月5日現在

推薦市町村名 推薦団体名	氏名	年齢	障害 種別	功績内容等
和歌山市	亀山 直美 かめやま なおみ	45	視覚	平成30年4月から、和歌山県点字図書館の非常勤職員として採用され、現在は常勤の職員。本人も点字使用者であることもあり、図書館内でも良心的かつ積極的に活躍され、令和3年には点字技能師の資格を取得した。

<チャレンジ賞>

年齢は令和6年12月5日現在

推薦市町村名 推薦団体名	氏名	年齢	障害 種別	功績内容等
和歌山市	中川 朋美 なかがわ ともみ	52	肢体	<p>体幹機能障害（肢体不自由）という困難を抱えながらも、様々な仕事に従事し、肢体障害者協会の役員に就任。</p> <p>さらに、パステルアートの技術を独学で身に付け、パステルアートのインストラクターの資格を取得し（令和2年）、和歌山県障害者作品展「紀ららアート展」に出展。令和元年度、令和2年度、令和5年度の同作品展の「紀らら感動大賞」を受賞した。</p> <p>さらに、令和3年度には紀の国わかやま文化祭2021「全国障害者作品展」に出展し「感動作品大賞」を受賞した。</p>

○紀の国チャレンジド・サポート感謝状

<更生援護功労者部門>

年齢は令和6年12月5日現在

推薦市町村名 推薦団体名	氏名	年齢	功績内容等
和歌山市	花光 悦子 はなみつ えつこ	72	<p>障害のある子を懸命に育て、和歌山市心身障害児父母の会（現・和歌山市障害児者父母の会）の活動に加わった。</p> <p>平成10年度には和歌山市障害児者父母の会理事に就任。平成14年度からは、社会福祉法人つわぶき会綜愛苑保護者会幹事に就任、障害者福祉施設の運営に貢献している。永年にわたる障害者問題への取組から障害児者福祉・療育に関する知識、経験が豊富であり、障害児者のことだけでなく保護者からの相談にも対応するなど、活動は多方面にわたる。</p>
和歌山県 自閉症協会	木田 誠也 きだ せいや	58	<p>特定非営利活動法人和歌山県自閉症協会の結成当初から理事として、また、社会福祉法人ふたば福祉会の職員として培った経験や専門的な知識を積極的に広め、自閉症児やその親が安心して日々を送ることができるよう尽力してきた。</p> <p>さらに、特定非営利活動法人はまゆう作業所の役員として培った経験を活かし、障害児者とその親の相談に寄り添い、適切な支援を助言するなど、和歌山県自閉症協会の運営の中心となり活躍している。</p>

<ファミリーサポート功労者部門>

年齢は令和6年12月5日現在

推薦市町村名 推薦団体名	氏名	年齢	功績内容等
有田市	福田 ユリ子 ふくだ ゆりこ	83	<p>昭和40年に結婚。2男1女を授かり、円満な家庭生活を営んできた。</p> <p>平成13年、夫は突然下肢が動かなくなり、3年間車椅子生活を送る。以降、困難を抱えながらも仕事を続ける夫を支えた。また夫は退職後、有田市身体障がい者連合会に入会。行く先々に付き添い、役員として会活動に精力的に取り組む夫を支え続けた。</p> <p>配偶者として夫の家庭生活のみならず、地域社会への参加を献身的に支え続けている功績は著しい。</p>
和歌山県 障害児者 父母の会 連合会	大西 貴久江 おおにし きくえ ※	68	<p>長年にわたり、障害のある子を家族とともに愛情をもって育ててきた。子の睡眠が不安定で大変な中、明るく家族を支えた。遠方まで訓練や病院に通いながら、地元の障害者の会（ありんこの会）では障害児者の水泳教室の企画運営を続け、地域の方々との交流のふれあい広場やふれあいコンサートにも大きく貢献した。</p> <p>また、橋本市障害児者父母の会の役員、副会長として様々な行事に取り組み、他の家族の良き相談者としても活躍した。</p>

※ 大西貴久江氏は、授与式には御欠席される予定です。